

修学旅行の源流を求めて

明治期の修学旅行 <2>

西山文男



西山文男氏

●長期遠征から修学旅行へ
明治中期のころ、内容的には修学旅行の史的意義はあつたが、それは先づのべて来た通りであるが、未だ正式に「修学旅行」という名称が用いられていなかったわけである。そこで正式に今日用いられている修学旅行という名称が生まれた。

○明治二十年四月「大日本教育会雑誌」に、
○明治二十一年四月「長野県師範学校生徒修学旅行」として、「埼玉教育雑誌」に、
等を用いられた記録があるが、法令上はじめて修学旅行という語が用いられるのは、
明治二十一年八月「尋常師範学校設備規則」においてである。即ち二十年以降のことである。

●制限と許可制という性格づけ
以上のように教育の現場の新しい実践が次第に修学旅行という今日の用語と共に、今日に似かよった内容で学校現場に大々行われてはいたが、必ずしもその位置づけは高く評価されなかったわけである。教育として重視されつつも、教授と比較して軽視されたことは事実である。その理由として、次のような指針がなされていたのである。

▽修学旅行は、休日を利用して行なうこと、費用をかけること、
と一指示

▽許可制とすること、そのための基準の作成がされるわけである。

今日の修学旅行でも、基準の問題、許可制の問題、及び費用の問題、もそのままだけに残っている要件であるが、そもそもおこるには、このように修学旅行への監視という制限要素として制定されたものである。今日の意味でこれを「許可制」とは、今後新しい修学旅行を語る上で、併せて検討する必要がある。

明治32年の発生

団体	乗車人員	割引率
日本鉄道会社	50人以上、150人未満	2割5分
乗車距離が片道10里(40km)以上	150人 ~ 300人	3割5分
	300人 ~ 以上	5割
小	50人 ~ 200人	2割5分
	200人 ~ 400人	3割5分
大(大人以上)	400人 ~ 以上	5割

●風紀衛生上心配
これを具体的内容にあげると、
●宿泊は高等小学校修学旅行以上の男子に限る。
●日数は一学期一回、毎回二泊以下。
●許可条件……日時、経路、目的を記し、管理者を経て監督官の許可を受けること。
●遠征と修学旅行の分化
明治二十年代の校外行事をみるに、その内容に未だはっきりとした分化がみられないのである。むしろ校外行事は、内容的にはきつぱりした分化が見られなかった。

●修学旅行の源流としての博物学研究
延長としての博物学研究
●修学旅行「遠征と野外教授を兼ねた地理歴史の知識獲得」
これはハルバルト教育理論の普及と、教育思想の根拠より来たと、もう一つは明治二十七八年の日清戦争を契機として、社会的要請という他からの力が、分化を促した原因となっているのである。

●許可制の発生
今日においても修学旅行に伴う特殊な制度として、列車等の割引制が現存している。いさぎからこの制度が生れたのか一つの興味のある問題である。この点について本書では、次のようなことを理解させてくれたのである。
修学旅行は明治三〇年代前半で広範囲に普及し、形態も定型化したことである。

わが故郷の記へ京都

私が京都で生まれたのは上京区相国寺東門前(相国寺境内)の一帯六十五年前のことである。小学校へあがる前は清浄土のボール遊びや裏の森で駆け回っていた。小学校へ行くようになったら、家から十分くらいある相国寺の境内へ友達とよく遊びに行った。

相国寺は臨濟宗相国寺派大本山で足利義満の附した普明国師(夢窓国師の弟)が十年の歳月をかけて諸国の土産を投入、明徳三年に完成したもので塔頭が四十余あったが、応仁の乱で焼け、天明八年の大火で二門と仏殿は消失、高さ六十尺の七重の大塔は雷火で焼かれたこと。

法堂(文・桃山)は慶長十年豊臣秀頼の再建によるもので京都の禪寺では最も古い。法堂の上は石垣を積み周囲一間半の石燈である。われら遊童ははたして走りこころい、その下、この字がた石圍いの中で野球をやったり、ボールが土壁を越えて本坊の庭内に入ると叱られる。同車をしてボールを拾う。法堂は拝観したことはないが、華厳窓の破れ目からの活け、神像の一回が「オ、オ

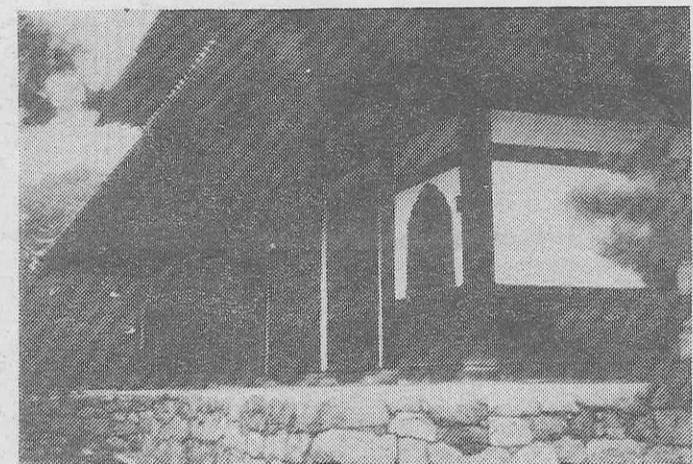
幼き日の憶いで

菅田 震五

院の如細、その門下の周文、空海、文清、雪舟がいる。南に功德池と称するはす池がある。夏の朝早くは花の開くのをよく見に行つた。またこの池は魚が多く、大人は魚の腹に南無阿弥陀仏と墨書して池に投げた。

法堂の東側に鐘楼がある。遊びに夢中になつていて、子ども達ばかりの鐘の音を聞く、その音が、おぼろげに響いた。

相国寺の南土庫に接して同社社七五年(明治八年)同志社女学校が創設され、翌年相国寺の旧蹟の築造は皇居の正殿、即位や朝賀などの儀式を行なう。典型的な

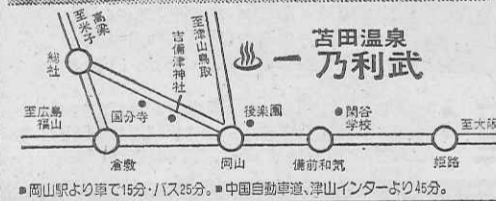


相国寺の宝堂(筆者うつす)

山陽路 岡山のお宿

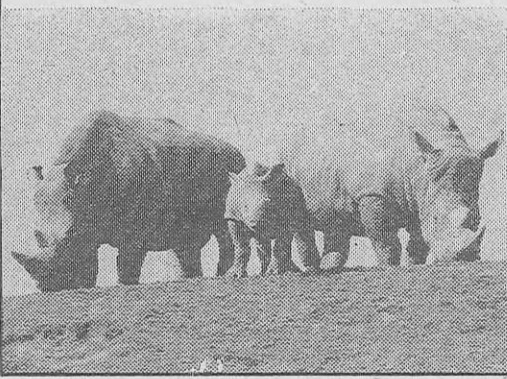


10,000坪の庭園を擁し、おもちゃ、また、ファイアーストームを囲んでのフォークダンスなど、楽しいレクリエーションタイムをご用意して、皆様方をお待ち申し上げております。(500名可能)
昼食休憩・ガーデンパーティーもご予約を承ります。



政府登録国際観光旅館
とまだ
吉田温泉 乃利武
〒701-11 岡山市栢谷1453
☎086294-2321 TELEX. 5922-621

育てる心は、みんな同じ。



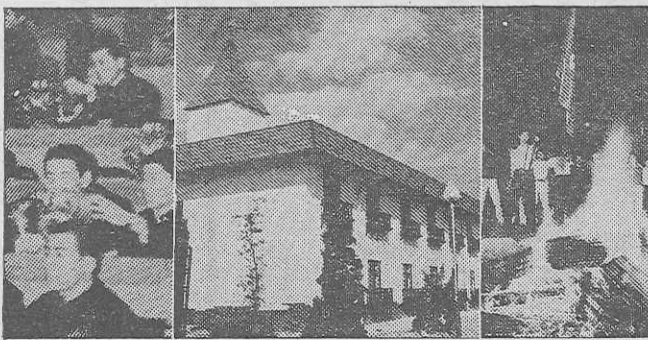
●営業時間
9:00~17:00 (3月16日~11月15日)
9:30~16:00 (11月16日~3月15日)
●修学旅行料金 高校生 1,000円
中学生 700円、小学生 600円

別府あじむ草原
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎(09784) 8-2 3 3 1(代)

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集团生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る“ゆうえんち”
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき——
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんがこの思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた《新近畿ルート》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。
陽気なビッグ・レジャーランド
鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町
電話=0593(78)1111
本社: 東京都中央区八重洲2-6-20 ☎03(274)5821
大原営業所: 大原市北區芝田町2-1-1 ☎06(372)1526